

**令和元年度執行事務事業**

施策名	基本事業	番号	事務事業名
交通安全・防犯・消費者対策の推	道路・交通安全施設の整備	1	佐野駅前自転車駐車場指定管理事業
		2	市道通学路整備事業
		3	市道1級2号線道路改良事業
		4	交通安全施設等整備事業
		5	交通安全施設等維持管理事業

事務事業名		佐野駅前自転車駐車場指定管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	市民生活課
	政策	1 安全で安心して暮らせるまちづくり					担当係	生活安全係	担当課長名	藤掛誠	
	施策	2 交通安全・防犯・消費者対策の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 道路・交通安全施設の整備					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	1553	一般	2	1	11	佐野駅前自転車駐車場指定管理事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	H10年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市自転車駐車場条例、 佐野市自転車放置防止条例		任意的事業・義務的事業		任意的事業
	実施方法						直営				
	事業分類						施設維持管理事業(市以外が主体)				
リーディングプロジェクト						該当なし					
市長市政公約						該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>佐野駅前自転車駐車場の維持管理及び佐野駅前自転車放置禁止区域等の巡回監視と放置自転車の撤去を指定管理者に委託している。</li> <li>放置自転車の告示及び処分を行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>佐野駅前自転車駐車場の維持管理を指定管理者に委託</li> <li>佐野駅前自転車放置禁止区域等の巡回監視及び放置自転車の撤去を指定管理者に委託</li> <li>放置自転車の告示及び処分を実施</li> </ul>					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
佐野駅前自転車駐車場稼働日数		日	362	362	363	362	362
放置禁止区域等巡回監視日数		日	244	244	240	243	242

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市民	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
市民		人	120,018	119,348	118,450	117,706	112,909

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
放置自転車の減少	放置自転車台数	台	105	101	84	75	70

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市民が交通安全教室などへの参加を通じ意識の高揚を図り、交通事故の当事者とならないようにする。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	交通事故発生件数(暦年)	件	346	316	330	385	380

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	10,673		11,846		11,575		11,830		11,932	
	一般財源	千円										
	事業費計(A)	千円	10,673		11,846		11,575		11,830		11,932	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			消耗品費	18	消耗品費	13	消耗品費	17	消耗品費	26	消耗品費	26
			燃料費	4	燃料費	17	燃料費	20	燃料費	62	燃料費	72
火災保険料			1	火災保険料	1	火災保険料	1	火災保険料	1	火災保険料	1	
業務委託料			981	業務委託料	1,018	業務委託料	1,049	業務委託料	1,114	業務委託料	1,069	
作成委託料			24	指定管理料	9,524	作成委託料	88	作成委託料	77	作成委託料	114	
指定管理料			9,524	工事請負費	1,274	指定管理料	10,400	指定管理料	10,550	指定管理料	10,650	
正規職員従事人数	人	2		2		2		2		2		
人件費	千円	878		1,146		839		839		839		
トータルコスト(A)+(B)	千円	11,551		12,992		12,414		12,669		12,771		

事務事業名	佐野駅前自転車駐車場指定管理事業	担当部	市民生活部	担当課	市民生活課	担当係	生活安全係
-------	------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	佐野駅周辺の美観や歩行環境を悪化させる放置自転車が増加したため、早急な放置自転車の対策及び鉄道利用者の利便性の向上を図るため平成10年度から事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	開始時期に比べると佐野駅南側の放置自転車は減少した。その後、佐野駅自由通路の開通に伴い北側に放置される自転車が増加したが、平成24年7月1日から佐野駅北口付近を放置自転車禁止区域に指定したので、駅北口の放置自転車は大きく減少している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	利用者から佐野駅前自転車駐車場の利用時間延長の要望があったほか、市議会議員から自転車利用者の増加が見込まれることから利用促進や整備の要望があった。また、佐野駅以外の駅周辺の駐輪場の整備の要望があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	放置自転車禁止区域の周知の英語表記のステッカーを作成した。
受益者負担の適正化	消費税率改定に伴う手数料の見直しを行った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	歩道や路上の放置自転車は、歩行者等の通行を妨げるだけでなく、危険な障害物となり、交通事故の原因になることから事故の減少を図ることができ、施策に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねられる・委ねられる可能性がある	理由・改善案	駅周辺の自転車駐車場が不足し、さらに放置自転車が問題となっていたため、平成10年に道路の付帯物として道路管理者である市が設置、維持管理していたが、平成18年度から指定管理者により運営している。 収支状況等を注視したうえで、今後民間企業による運営も可能であると考える。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	佐野駅周辺の良好な交通環境の確保を図る目的で実施しており、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	維持管理に指定管理者制度を導入したことから民間の能力の活用が図られ、利用者へのサービス向上が図られ、利用率は上昇している。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	*類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	最低賃金が年々上昇しており、これ以上の削減の余地はない
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担を見直す必要がある	理由・改善案	民間業者を圧迫しないような料金設定となっているが、定期的に調査を行い、適正な料金を設定することが必要である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
民間駐輪場ですべて受け入れが可能となるか自転車駐車場が民間への譲渡が行われた場合、事業終了となる。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
受益者負担の適正化  * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 定期的に近隣の駐輪場の料金の調査を行う。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。  <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		市道通学路整備事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課
	政策	1 安全で安心して暮らせるまちづくり					担当係	道路建設係		担当課長名	黒田 英文
	施策	2 交通安全・防犯・消費者対策の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 道路・交通安全施設の整備					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11065	一般	8	2	3	市道通学路整備事業					
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H30年度～ R03年度		根拠法令 条例等	佐野市通学路交通安全プログラム					
					事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
							任意的事業・義務的事業		任意的事業		
						実施方法		一部委託			
						事業分類		施設等整備事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長市政公約		3-④-1			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
佐野市通学路安全対策プログラムにおいて、各学校より危険箇所として要望された市道通学路について、道路改良を必要とする通学路を緊急的に整備を進めていく。					・用地測量及び詳細設計業務委託 L=85m(市道佐野11号線)					
・道路改良を必要とする危険箇所要望件数 (H30現在) 19箇所										
活動指標					単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
工事延長					m				40	30
用地買収					件				1	1
物件補償					件				1	1
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
市内の小学生・中学生					対象指標					
					単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
児童の通過数					人					
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
1.市道通過中の児童の安全確保					成果指標					
					単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
整備箇所数					件				2	1
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
通学路の安全が確保される					上位成果指標					
					単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
幹線市道の歩道整備率					%	26.8	27.0	27.0	27.1	27.2

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		3,078	2,310	13,340	11,450					
	事業費計(A)	千円	0	3,078	2,310	13,340	11,450					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
					委託料	3,078	委託料	2,310	委託料	4,000	委託料	2,000
									工事請負費	9,340	工事請負費	3,600
										土地購入費	1,950	
										補償費	3,900	
正職員従事人数	人		2	2	2	2						
のべ業務時間	時間		100	200	200	200						
人件費計(B)	千円	0	382	763	763	763						
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	3,460	3,073	14,103	12,213						

事務事業名	市道通学路整備事業	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課	担当係	道路建設係
-------	-----------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	『佐野市通学路安全対策プログラム』において各学校より要望される、危険となりえる市道の整備については、早期な整備が望まれている。この整備を『市道道路改良事業』として進める場合、各町会より提出されている要望箇所との整合性を図る必要があり、危険となっているのに整備が進まない状況となっている。その為、市道改良事業と分離した通学路整備事業として進め、要望される箇所の早期な整備を目的とする。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	登下校中の児童へ自動車が入り込むなど痛ましい事故が全国で相次いでおり、通学路の整備による児童の安全確保は注目されている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	各小中学校より危険箇所として要望された対策について、市議会においても早期対策が望まれている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	道路管理者による歩道等の整備事業であり、児童の安全確保は佐野市シャイニングUP計画の『安全な通学路の確保』に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	道路は不特定多数の人が利用するものであり、市道に認定されているので、市が行うことは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	通学路として危険な箇所の整備を行うことは、児童の安全確保を図ることになり妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がかなりある	理由・改善案	早期に危険箇所の整備を実施することで、安全な通学路の確保が図られる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	市道道路改良事業は地元要望を基本とし実施しているが、今までの要望件数が多いため、事業開始までに多く年数を要している。通学路の整備にあたっては合同点検にて危険箇所の改善を緊急的に望まれているため、別事業での実施が必要となる。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	担当職員は、必要最低限の人数であり、委託可能な業務については、外注する予定であることから、これ以上のコスト削減は見込めない。他の事業との兼ね合いや業務所要時間を余裕に取る事が出来ない状況なので、現在の所要時間は最低時間に切詰めたものであり、これ以上の短縮する余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	道路は不特定多数の人が利用するものであり、公平であるため、受益者負担は求められない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	各学校よりの要望される箇所の整備が終了するば完了となる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上			○																					
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		市道1級2号線道路改良事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課	
	政策	1 安全で安心して暮らせるまちづくり					担当係	道路建設係	担当課長名	黒田 英文		
	施策	2 交通安全・防犯・消費者対策の推進					新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	2 道路・交通安全施設の整備					実施計画事業・一般事業		実施計画事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	11092	一般	8	2	3	市道1級2号線道路改良事業						
	事業計画	期間限定複数年度	事業期間	R01年度～R05年度		根拠法令 条例等	道路法		事業区分		市単独事業・国県補助事業	国県補助事業
											任意的事業・義務的事業	任意的事業
											実施方法	一部委託
											事業分類	施設等整備事業
											リーディングプロジェクト	該当なし
											市長市政公約	3-④-1

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)						令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
市道1級2号線は、城東中学校の通学路になっており、70名の生徒が踏切を横断して登校している。 また、佐野駅と佐野日大高校のバス発着所間の経路となっており、通学時間帯では、多くの中高生が往来する道路であるが、踏切部分が狭く歩道が無い状況で、歩行者の安全が確保できていないことから、踏切部分の拡幅及び踏切への取付道路の整備を行うものです。  全体事業 工事延長L=170m 道路幅員W=14m 自転車・歩行者道W=4m(両側)						・路線測量及び予備設計業務委託 L=170m (R2年度へ繰越)						
						単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)	
工事延長						m						
用地買収						件					5	
物件補償						件					5	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)												
歩行者、自転車利用者						対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
歩行者、自転車数(人/12h)						人			808			
目的												
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)						成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
歩行者、自転車利用者の安全確保を図る						歩行者、自転車数(人/12h)	人			808		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)												
通学路の安全が確保される						上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
幹線市道の歩道整備率						%	26.8	27.0	27.0	27.1	27.2	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)					
	国庫支出金	千円					108,400					
	県支出金	千円										
	地方債	千円					97,500					
	その他	千円										
	一般財源	千円				13,353	16,000					
	事業費計(A)	千円	0	0	0	13,353	221,900					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
							委託料	0	旅費	53	需用費	100
									役務費	500	委託料	5,500
								委託料	12,800	公有財産購入費	37,800	
								補償金・賠償金	178,500			
正規職員従事人数	人			2	2	2						
のべ業務時間	時間			30	240	400						
人件費計(B)	千円	0	0	114	916	1,526						
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	114	14,269	223,426						

事務事業名	市道1級2号線道路改良事業	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課	担当係	道路建設係
-------	---------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	市道1級2号線は、城東中学校の通学路になっており、70名の生徒が踏切を横断して登校している。平成25年度には城東中学校より通学路合同点検箇所として歩道整備の要望もでており、市議会においても、踏切部分が狭く歩道が無い状況で、歩行者の安全確保が望まれているため、令和1年度より事業を着手することとなった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	登下校中の児童へ自動車が入り込むなど痛ましい事故が全国で相次いでおり、道路管理者の責務として、通学路の整備による安全確保は注目されている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成25年度に城東中学校より通学路合同点検箇所として要望がでている。 H28年12月議会では、踏切の拡幅に必要な計画、調査について検討していくと答弁している。 平成29年3月に策定された「佐野市バリアフリー基本構想」において位置付けられた。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	この事業により道路利用者の円滑な通行と安全を確保することは、市民の生活道路の利便性、安全性を高めることにつながるものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	本路線は市道に認定されていることから、道路管理者である市が整備することは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	中心市街地の利用者及び生徒の通学路として、利用者の安全確保及び利便性の向上を図ることは妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がかなりある	理由・改善案	本路線の整備促進により、利用者の安全確保及び利便性の向上に繋がるため。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	担当職員は、必要最低限の人数であり、委託可能な業務については、外注する予定であることから、これ以上のコスト削減は見込めない。他の事業との兼ね合いや業務所要時間を余裕に取る事が出来ない状況なので、現在の所要時間は最低時間に切詰めたものであり、これ以上の短縮する余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	本路線は不特定多数の人が利用するものであり受益者負担は求められない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか?) 計画路線の整備が完了することにより、本事業は終了となる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下	×		×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持			×																			
	低下	×		×																			

事務事業名		交通安全施設等整備事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課	
	政策	1 安全で安心して暮らせるまちづくり					担当係	道路維持係	担当課長名	黒田英文		
	施策	2 交通安全・防犯・消費者対策の推進					新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	2 道路・交通安全施設の整備					実施計画事業・一般事業		一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	10875	一般	8	2	2	交通安全施設等整備事業						
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
事業計画	単年度繰り返し		事業期間		年度～	年度	根拠法令 条例等	道路法、道路交通法、交通安全対策基本法、交通安全対策特別交付金に関する政令			任意的事業・義務的事业	義務的事业
							実施方法		一部委託			
							事業分類		施設等整備事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし				
						市長市政公約		該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
交通安全施設(区画線、防護柵、道路反射鏡、街路灯、歩道)等の整備を行う。  (交通反則金収入を原資とした交通安全対策特別交付金制度による緊急に設置が必要な交通安全施設等を整備する。)	道路パトロール等で発見した危険箇所と利用者からの苦情ならびに設置要望を受けた危険箇所等の整備 区画線、防護柵、道路反射鏡、街路灯の設置						
	活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	道路反射鏡の設置数	基	33	28	13	30	30
	街路灯の設置数	基	1	0	5	1	1
	防護柵の設置延長	m	0	90	40	100	100

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

道路の利用者	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	道路の利用者数(市民数とする)	千人	120	119	118	118	118

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

交通安全施設(防護柵、道路反射鏡、街路灯)等の維持・修繕を行い、道路環境を良好にすることにより、交通事故防止を図る。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	市内での交通事故発生件数(件数は暦年による)	件	346	316	330	385	380

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

交通事故が起きにくい道路環境になる。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	カーブミラー設置総数	基	3,439	3,467	3,480	3,520	3,550
	街路灯設置総数	基	389	389	394	391	392

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	17,794		16,724		16,951		16,000		16,000	
	事業費計(A)	千円	17,794		16,724		16,951		16,000		16,000	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			工事請負費	17,794	工事請負費	16,724	工事請負費	16,951	工事請負費	16,000	工事請負費	16,000
人件	正規職員従事人数	人	3		3		3		3		3	
費用	のべ業務時間	時間	1,870		1,870		1,870		1,870		1,870	
	人件費計(B)	千円	7,136		7,136		7,134		7,134		7,134	
トータルコスト(A)+(B)		千円	24,930		23,860		24,085		23,134		23,134	



事務事業名	交通安全施設等整備事業	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課	担当係	道路維持係
-------	-------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和43年度より、交通違反による反則金を原資とした交通安全対策特別交付金制度が創設され、緊急に設置が必要な交通安全施設等の整備ができるようになった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	交通安全対策基本法で、地方公共団体の責務として住民の交通安全の確保に努めると位置付けられており、交通安全施設等の整備を行うことは、妥当である。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	町会等から道路反射鏡等の交通安全施設の設置要望について、早急に対応してほしいとの意見が多い。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている		理由・改善案	道路反射鏡等の交通安全施設の設置をすることで、交通事故の防止が図られ、交通事故発生件数を削減することができ、交通安全対策につながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない		理由・改善案	交通安全対策基本法で、地方公共団体の責務として住民の交通安全の確保に努めると位置付けられており、交通安全施設等の維持・修繕を行うことは、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である		理由・改善案	交通安全施設等の設置をすることで、道路利用者の交通事故防止と削減につながり、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない		理由・改善案	道路施設として事業を実施していくことが効率的であることから、平成18年度より道路河川課にて事業実施することになった。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない		理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない		理由・改善案	交通安全施設等の整備にあたり、設備の過剰な仕様等は行っていないため、これ以上の削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない		理由・改善案	本事業については、交通安全施設等の整備を行うものであり、特定な受益者はいない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)				
市の責務として、利用者の交通安全の確保に努めることは当然であり、休止・終了することはできない。					

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<p>廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			

事務事業名		交通安全施設等維持管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課
	政策	1 安全で安心して暮らせるまちづくり					担当係	道路維持係	担当課長名	黒田英文	
	施策	2 交通安全・防犯・消費者対策の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 道路・交通安全施設の整備					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10874	一般	8	2	2	交通安全施設等維持管理事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		義務的事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	道路法、道路交通法、交通安全対策基本法、交通安全対策特別交付金に関する政令		実施方法		一部委託
								事業分類		施設維持管理事業(市主体)	
								リーディングプロジェクト		該当なし	
							市長市政公約		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)							
交通安全施設(防護柵、道路反射鏡、街路灯)等の維持・修繕を行う。			道路パトロール等で発見した危険箇所と利用者からの苦情ならびに修繕依頼を受けた危険箇所等の維持・修繕 防護柵の修繕 道路反射鏡の修繕 街路灯の修繕							
活動指標			単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)		
交通安全施設等の維持・修繕を実施した箇所数			箇所	225	179	91	200	200		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
道路の利用者			対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)	
道路の利用者数(市民数とする)			千人	120	119	118	118	118		
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
交通安全施設(防護柵、道路反射鏡、街路灯)等の維持・修繕を行い、道路環境を良好にすることにより、交通事故防止を図る。			成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)	
市内での交通事故発生件数(件数は暦年による)			件	346	316	330	385	380		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
交通事故が起きにくい道路環境になる。			上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)	
カーブミラー設置総数			基	3,439	3,467	3,480	3,520	3,550		
街路灯設置総数			基	389	389	394	391	392		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	2,328		2,616		2,579		2,651		2,651	
	事業費計(A)	千円	2,328		2,616		2,579		2,651		2,651	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			需用費	2,175	需用費	1,940	需用費	1,882	需用費	1,951	需用費	1,951
			委託料	153	委託料	676	委託料	697	委託料	700	委託料	700
正規職員従事人数	人	8		8		8		8		8		
のべ業務時間	時間	1,600		1,600		1,600		1,600		1,600		
人件費計(B)	千円	6,106		6,106		6,104		6,104		6,104		
トータルコスト(A)+(B)	千円	8,434		8,722		8,683		8,755		8,755		

事務事業名	交通安全施設等維持管理事業	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課	担当係	道路維持係
-------	---------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	市道及び認定外道路に設置されている交通安全施設等の維持管理は、交通事故防止のため市の重要な責務である。 交通安全施設等の設置時より事業開始となる。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	交通安全施設等は相当数整備されてきたが、交通事故は現在も数多く発生している。 そのため交通安全施設等の設置について多くの要望があり、かつ施設の老朽化による建て替え需要が増加している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	道路反射鏡の角度調整について、利用者から多くの苦情や修繕依頼を受けている。 道路反射鏡の設置や角度調整について、早急に対応してほしいとの意見が多い。 平成29年2月議会において「道路の適切な維持管理について」要望が出されている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	道路反射鏡等の交通安全施設の維持管理を行うことで、交通事故の防止が図られ、交通事故発生件数を削減することができ、交通安全対策につながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	交通安全対策基本法で、地方公共団体の責務として住民の交通安全の確保に努めると位置付けられており、交通安全施設等の維持・修繕を行うことは、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	交通安全施設等の維持管理を行うことで、道路利用者の交通事故防止と削減につながり、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	道路施設として事業を実施していくことが効率的であることから、平成18年度より道路河川課にて事業実施することになった。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	交通安全施設等の維持管理に当たり、設備の過剰な仕様等を行っていないため、これ以上の削減の余地はない。 今後、技能労務職員の削減及び高齢化が進むことから、現場作業については民間委託をさらに進めていかなければならない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	本事業については、交通安全施設の維持管理を行うものであり、特定な受益者はいない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	市の責務として、利用者の交通安全の確保に努めることは当然であり、休止・終了することはできない。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					